

図書館の図書の声データ化、あるいは、すべての音声

詳細説明

アイデアよりも先にある思想

目が不自由で図書を読めない方がいる。
図書を音声で聞くことなら可能な場合がある。
また、ラジオのように、すべての方にとって、音声の再生は有益なこととなるかもしれない。
福祉や経済のきっかけにもなる、図書の音声データ化の提案である。

アイデア

図書館の図書を音声にすると、マンパワーが足りないことが予想される。
芸能関係の方々にも協力してもらおうというのはいかがか。
若手で売れない方はアルバイトしたり治験に参加したりと聞く。
図書の朗読は芸能の勉強にもなるのではないか。
アナウンサーを目指す方々にも、声優を目指す方々にも、
音楽関係の方々にも、協力してもらい、何か経済が成り立たないだろうか。
バスガイドの方々、語り部の方々、学校の先生...
声を使わない職業のほうが少ないかもしれない。
学生の方々とっては、課外授業と認められないか。
福祉のきっかけになるし、結果が残るものである。
ニートの方々に社会復帰に少しでも近づいてもらいたい。
目新しさはある。

例えば、小説の短編もあれば、長編もある。
音声データ化に、時間の長さで、難易度を設定することができる。
例えば、絵本のように表現力を要するものもある。
また違った難易度があるだろう。

すでに文字として存在する図書を音声データ化するのは別に
最初から音声で何かを残すという方法ももちろんある。
音楽全般は言わずもがなである。
NHKの連続テレビ小説では方言や昔の言葉が美しい。
BSでは放送大学のラジオもある。
伝統芸能をすべての方が観れるわけではない。
録音するという仕事はコロナ禍にあって少ない犠牲でできる。
高収入にすればいいのである。

図書館で図書の音声データを蓄積する。
ここまで考えると、図書の必要はない。
誰にとっても扱いやすいものにする。
利用者は、音声データを借りた後、AIスピーカーで再生できる。
再生機器はなんでもよい。

ご高齢の方々による図書館での子供たちへの本棚自慢

詳細説明

アイデアよりも先にある思想

少子高齢化と言われている。
ご高齢の方々はきつと本に詳しい。
子供たちは、最初は、本のことなんてまるで分からない。
ご高齢の方々が、子供たちに本のことを教えなければもつたない。
ここで、ご高齢の保護者、子供たち双方をできるだけ広く考えていただきたい。
保護者は、本県に生きるすべての高齢の方である。
子供たちは、外国にルーツを持つ子も含めて、本県に生きるすべての子供たちである。

アイデア

ご高齢の保護者の方に「子供たちにこれは残したい。」という本を提示してもらおう。
図書館で、利用者(ご高齢の方に限らず)が、自身が本を貸し出す側のつもりで
自分自身だけの本棚を設置できるというのはいかがか。
ICTのチャラで、大型ディスプレイに本棚を利用者ごとに切り替えて表示する。
ディスプレイをタッチパネルかなにかで操作して
表示を別の方の本棚に変えたり、本を借りられるだとか、本を貸えるだとかすればどうだろう。

著名人の本棚

詳細説明

アイデアよりも先にある思想

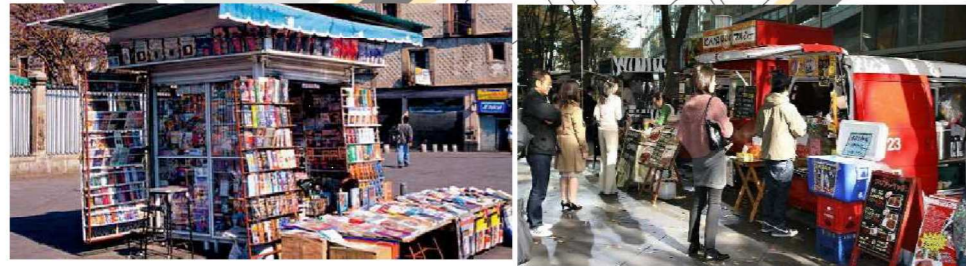
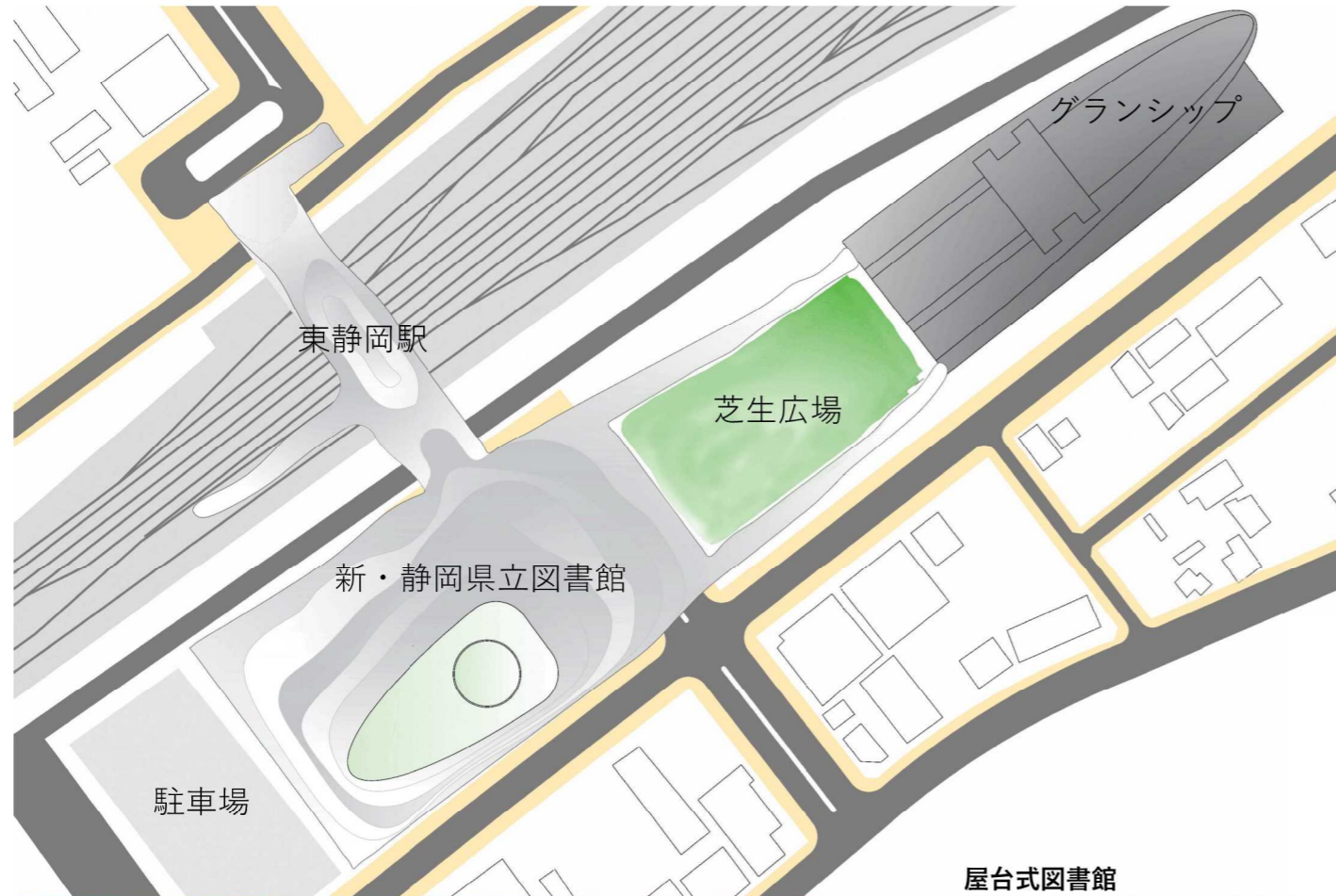
人間とは、のぞきにも似て、他人の本棚が気になるものである。その欲望のとおり、とある方々に、私的な本棚を公開してもらおう。その公開の場が図書館である。来館者がその本棚をどう見るかは自由である。

アイデア

以下の人々に、私的な本棚を公開してもらおう。著名人、有名人、様々な賞の受賞者、芸能人、リクエストのある方々... まだ書きたいが、これは一般の方々の、狂気じみた好奇心による。図書館内に、実際に本棚をつくるよりかは、大型のディスプレイに表示するほうが現代的であろうか。ディスプレイをタッチパネルかなにかで操作して表示を別の方の本棚に変えたり、本を借りられるだとか、本を買えるだとかすればどうだろう。

知の航海～グランシップ出航！航路に残る知識の波～

新県立図書館は、「知の拠点」としてグランシップと共存・共栄できる施設が望ましい。グランシップは、船をモチーフにした建築物で静岡県の「文化創造と交流の拠点」としての役割を担っている。新県立図書館は、「航走波」をモチーフにした大屋根で東静岡駅とグランシップを緩やかに繋ぐ建築物にする。「屋台式図書館」「ドライブスルー貸出窓口」「図書館サイネージ」など時代や立地に合った図書館の在り方を提案する。



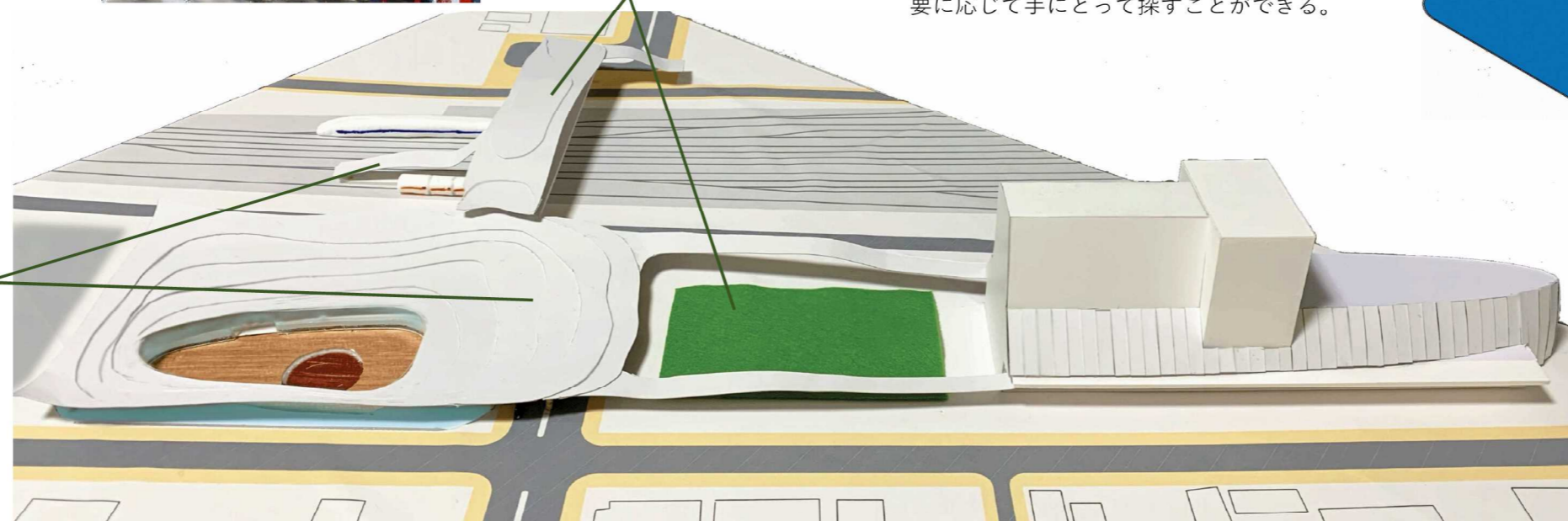
屋台式図書館

建設予定地は公共交通機関が充実している東静岡駅や、幹線道路に隣接している。公共交通機関利用者のために、東静岡駅のコンコースや芝生広場に屋台式図書館を設ける。図書館に足を運ばなくても身近に図書館を感じてもらえるだろう。



図書館サイネージ

駅のホームや、バスの停留所にデジタルサイネージを設置。イベントの告知やおすすめ書籍を表示。タッチ式ディスプレイにより、交通機関の待ち時間に立ち読みや、貸出予約も可能となる。



ドライブスルー 貸出窓口

事前予約した資料の貸出や返却を自家用車から降りずにできるようになることは、感染症対策につながるだけでなく、駐車場混雑緩和や小さい子供連れの方や足が不自由な方の図書館利用促進につながるだろう。

ゾーニング

1F 砂浜ゾーン

貸出等手続きやレファレンスサービスに重点を置いたエリア。エントランスやスタッフの執務エリア、バックヤードも含まれる。静岡県の情報発信スペースを作る。各市町の地域広報誌や観光誌、ゆかりのある作家の本や漫画、静岡特産物が飲食できるカフェ等、図書館の機能を越えたちょっと立ち寄りたい観光スポットをめざす。

吹抜部分 浜辺ゾーン

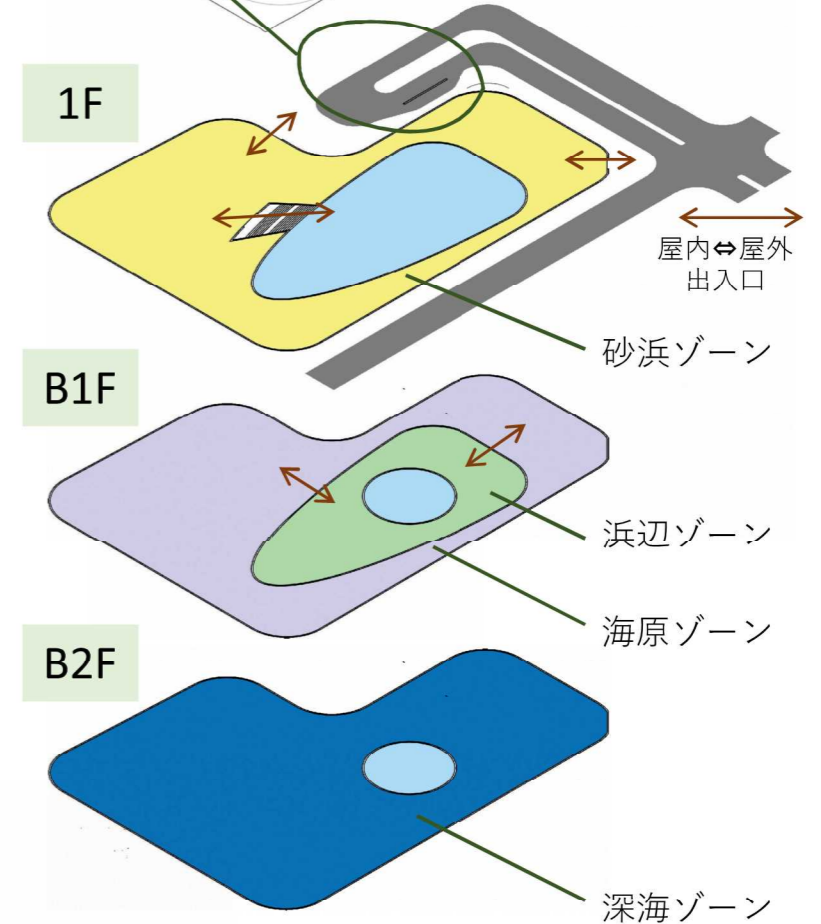
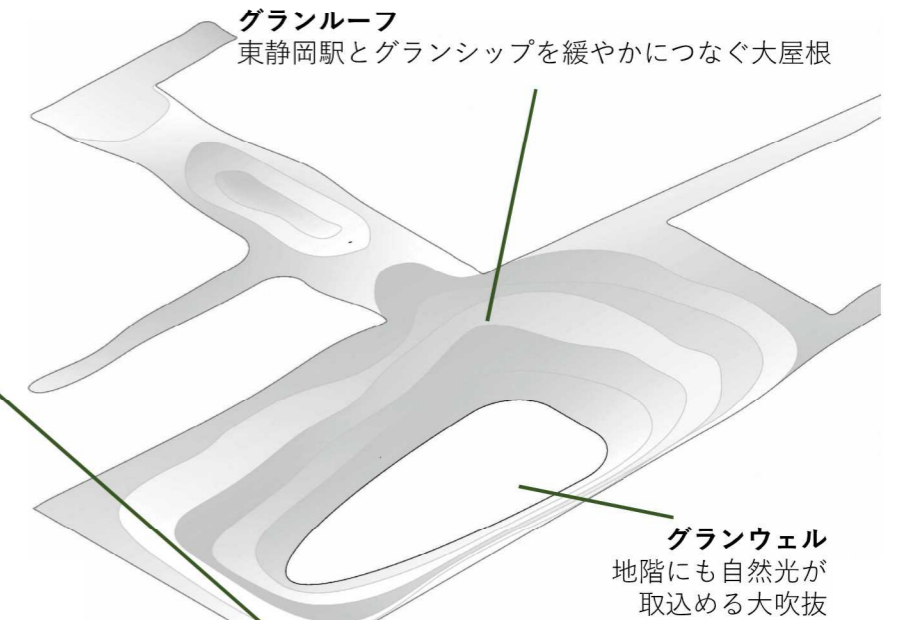
1FとB1Fからアクセスできる館内の外部空間。学習の合間の休憩や、天気の良い日は外で読書ができる。

B1F 海原ゾーン

学生や社会人が静かに学習できるエリア。

B2F 深海ゾーン

受付をして入ることができる閉架式書庫。一般的な読み物を超えた専門性が高い蔵書を必要に応じて手にとって探すことができる。



with COVID-19～after COVID-19
閲覧席が密集しないよう、当面の間、椅子のみ設置する。感染症の心配が減ってきたら、設置されていた椅子に可動式個別対応の机を用意して、学習スペースを充実させる。自由に机や椅子を動かすことができれば、1人学習にもグループ学習にも対応できる



「タイトル」

民間資料のデジタル・アーカイブ化の手伝い

「詳細説明」

私の所属していた文化サークルでは、過去に収集した資料、講演、イベントなどを記録した紙やテープが遺されているが、経年劣化や技術革新によるアナログ再生機材の希少化が進んでいます。

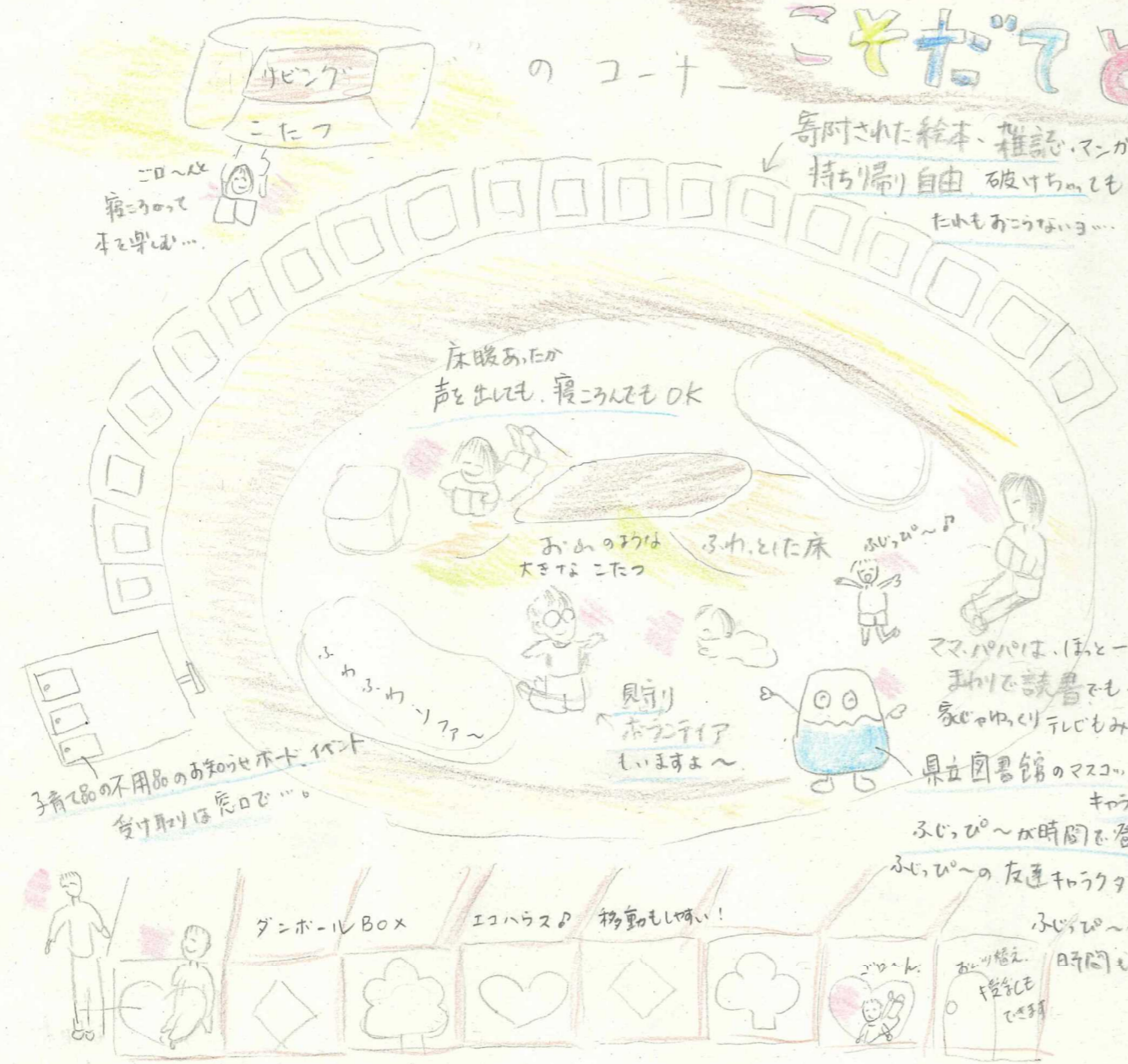
おそらく、他の文化団体でも、同様に宝の持ち腐れが進んでいて、中には、貴重な資料もゴミとして捨てられてしまうことも起きるのではないのでしょうか。

カメラ屋さんでも、ビデオテープをデジタルディスクに移し替えるサービスがあるが、1本につき数千円の費用がかかります。。

新しい図書館の中に、民間のもつ文化財をアナログからデジタル・アーカイブにする手伝いをする機能を持たせていただきたい。

こそだてといかん

のコーナー



カラ竹BOX じゃなして、ブックBOXコーナー

～防音、60分借し切り読書スペース～

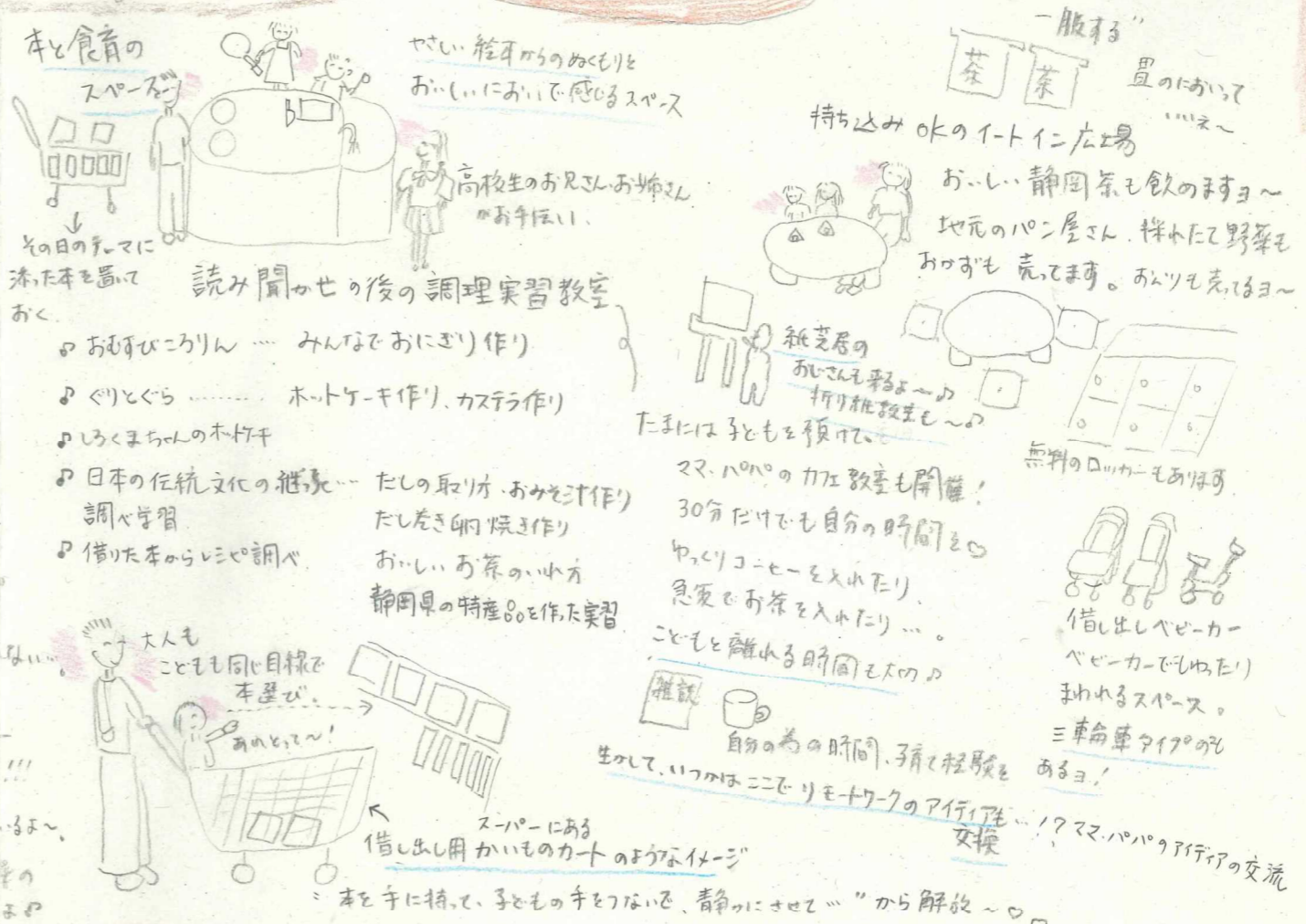
ここでは1人1台のママ、騒いんだり、走りまわると、発達障害の子とも気がねなく...

子育て中に、こんな逃げ場があったら嬉しいなあ～。「迷惑かける」からの脱却図書館。周囲の人目が気になる...、走り回らなく... 静かにさせたいから...

県立図書館の「ボランティアスタッフのあたらしい」

県内の教育学部、こどもに関わる分野を履修している高校生に「おてし」を作る。アルバイト制にしても。(土日の時間をこども達とのつくりを通して学ぶ) 一人の子で育つ子ども達へ、異年齢同士で解り合える体験学習の場。退職した教員が学生達にこども達の接し方をアドバイス...

ダイニングのコーナー



ママパパーのたのしみ... 静かな空間。お互い様。が共有できる子育て中の家族専用フロア～

ママパパーのたのしみ... 静かな空間。お互い様。が共有できる子育て中の家族専用フロア～

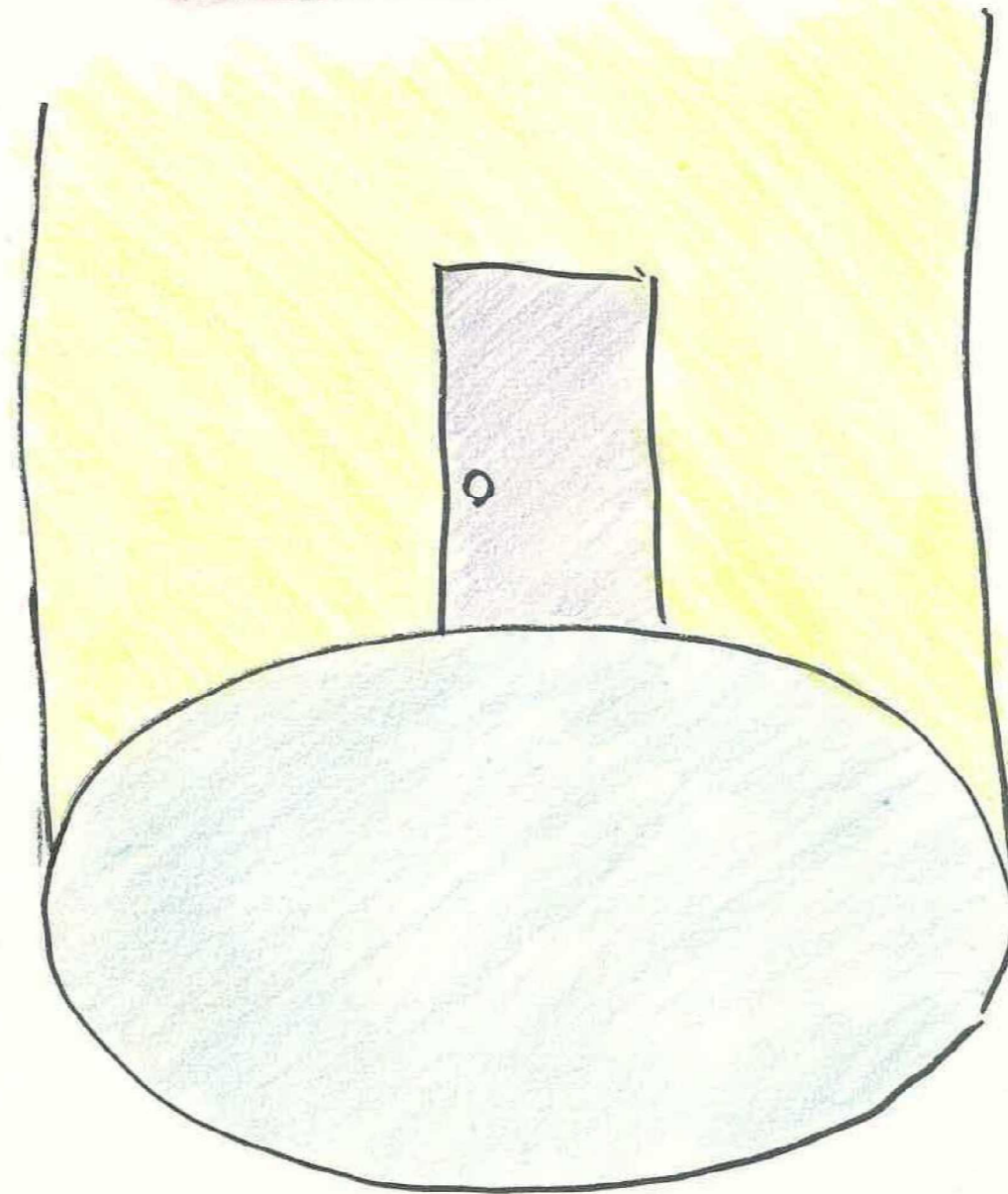
ママパパーのたのしみ... 静かな空間。お互い様。が共有できる子育て中の家族専用フロア～

ママパパーのたのしみ... 静かな空間。お互い様。が共有できる子育て中の家族専用フロア～

無グース

何もない空間

外にクッション等貸出グース
持込できるものは書籍と
貸出グースのみ



トイレグース (本物でなくとも)

自宅のトイレで読書をする人が多く
いるので、同様の空間を作出し
一定時間利用できる



個室録音・視聴グース

朗読・オスメ本
リレ・朗読・ネバレコーナーなど
テーマ別には、録音や視聴が
できるグース
ポイントも導入